



# 河北医科大学

## Hebei Medical University



- 学部学生 9,781人（本科生のみ）
  - 大学院生 3,431人
  - 教職員 11,186人
  - 留学生 約300人
- ホームページ <http://www.hebmu.edu.cn/>  
 交流協定締結年月日：2001年11月27日 主管学部：医学部



<http://www.hebmu.edu.cn/>より抜粋

## 国際交流の特色

河北医科大学は1894年に端を発し、他大学との統合により1995年5月に現在の大学となっている。河北省石家庄市に位置し、昔から東西の交通の要衝としても知られている。大学の構成は、学部14、大学院博士課程42、修士課程68のコースである。学生数は本科生10,491人、留学生400人（日本、韓国等）である。教職員は12,443人を超え、学生の指導にあっている。さらに、河北医科大学は5箇所の附属病院を有し、非常に高水準な教育・研究・診療がなされている。また、日本をはじめ韓国、アメリカ、フランス、イギリス、パキスタン等の海外の大学と共同研究を活発に行っている。

## 交流実績（平成27年度～29年度）

年度	H27	H28	H29
受入・派遣			
学生の受入	13	13	14
学生の派遣	5	8	5
研究者・職員の受入	4	1	4
研究者・職員の派遣	0	11	3



## 教員からの声

河北医科大学は大きな規模の大学で、基礎医学院、口腔医学院、成人教育学院、薬学院、公共衛生学院、衛生技術学院、臨床医学院からなっている総合的な医学教育機関です。さらに、大学には第1から第6までの附属病院があり、非常に充実した臨床教育が行われています。特にこの中でも第4附属病院における食道がんの症例数は世界に類がないほど多く、諸外国の大学と共同研究が進められています。

本学の医学科博士課程、看護学科修士課程を修了した留学生のほとんどは自国の大学、病院で活躍しています。大学院生だけではなく、毎年河北医科大学から短期間10-15名ほどの学生が本学を訪問しています。今後双方の学生交流がさらに推進されることを期待しています。

医学部教授 三宅 実

## 学生からの声

私は、2015年に河北医科大学を卒業した後、北京の中日友好病院にて臨床経験をつみ、2017年9月に留学生として来日しました。本年4月より香川大学大学院医学系研究科に入学し、歯科口腔外科学講座に所属しています。

日本に来て半年がたちましたが、来日当初、生活や習慣、言葉の違いから大変苦労しました。しかし毎週、学内で日本語教室があり、日本語の勉強を続けています。医局の症例検討会では、臨床知識を学ぶ事が出来ます。基礎研究では、希少糖のう歯や歯周病に対する作用について研究を行っていく予定です。これからの4年間でさらに口腔科専門コースを学ぶ事が出来ると信じています。私の日本での研究生活はとても充実しています。

歯科口腔外科学大学院生 郭一満 Guo Yiman